

『風呂と愛国』刊行記念研究会

# 日韓の清潔規範をめぐる歴史を考える

2月27日（木）13:00-17:10

（最大17:30まで延長）

立命館大学衣笠キャンパス創思館303・304

オンライン参加は右記のQRコードから  
日韓逐次通訳あり（予定）



2024年10月10日に刊行された、川端美季『風呂と愛国——「清潔な国民」はいかに生まれたか』に基づき、日本と韓国における清潔規範をめぐる様々な事象・モノ・ひとをめぐる歴史についての研究会を行います。韓国の慶熙（キョンヒ）大学からパク・ユンジェ教授をお招きします。前日には慶熙大学の院生と立命館大学の院生・若手研究者との研究交流会を行う予定です。

- 13:00-13:10 開会あいさつ
- 13:10-14:10 報告：川端美季（立命館大学）  
「「清潔さ」の再考——『風呂と愛国』をもとに」
- 14:10-14:15 休憩
- 14:15-15:15 報告：パク・ユンジェ（慶熙大学校）  
「垢を落とそう——植民地時代における入浴文化の形成と垢に対する認識」
- 15:15-15:30 休憩
- 15:30-17:00 ディスカッション  
コメント：住田朋久（慶應義塾大学大学院社会学研究科 訪問研究員）
- 17:00-17:10 閉会あいさつ

主催：科研費（挑戦的萌芽）「帝国日本植民地統治下の公衆浴場運動における清潔規範思想」  
共催：立命館大学生存学研究所  
問い合わせ先：川端美季（mikikwbt@fc.ritsumeai.ac.jp）